4月19日 火曜日 18日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話（代表）京橋（56）8646
（直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝（43）1163番
東京振替貯金口座 170071番

内外タイムス THE NAIGAI TIMES
第3071號
（昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232號）
（中央郵政局特別扱承認新聞紙第637號・内政内部新聞紙第0136號）

天気予報 今晩 北の風 曇 一時小雨 明日 北の風 晴

あすの暦 4月19日（火） 旧3月27日	
月齢	26.0
日出	5.05
日入	6.17
月出	2.39
月入	2.40
満潮 前	2.45
満潮 後	3.00
干潮 前	9.20
干潮 後	9.30
（中潮）	

4版

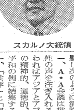
A・A会議の幕開く
29ヵ國代表列席
平和へ総力結集
新しい植民地主義を排除

【バンドン十八日発共同】アジア・アフリカの廿九ヵ国代表が一堂に会するA・A会議は予定どおり十八日午前九時廿分（日本時間午前十時五十分）ムルデカ・ホール（自由の会堂）で色彩豊かに幕を切っておとした、この日まず招請国インドネシアのサストロ アミジョヨ首相とスカルノ大統領が開会演説を行ったが、この演説が力強い拍手で終ったあと各国の首席代表は第二会場のディ・ワルナホールにおける議事規則の決定会議にうつった、ここでインドネシアのサストロ アミジョヨ首相を会議議長に選出、ついて七項目の議題を正式に決定した

参加廿九ヵ国代表六百四名の大会議だけに一番心配された問題の一つは議題をどうまとめ会議をどうリードして行くかということだった、しかしこの悩みはネール首相らの仲介で思いのほかうまく行き、十七日午前までに各代表から卅四項目の議題が提出されたが各国首席代表が同日午後予備会談を開いた結果左の七項目に要約、ここに会議最大の難関を越しいよいよ本筋の話合に入ることになった

議題七項目

一、文化的協力
一、経済面での協力
一、従属民族の問題
一、人権と民族自決の問題
一、原子力の利用
一、大量殺傷兵器の問題
一、世界平和と協力の増進


スカルノ大統領

領統大会 説演開ス（大統領開会演説）

【バンドン十八日発ロイター＝共同】インドネシアのスカルノ大統領は、開会式にあたり「新しいアジアとアフリカが生れ出でよ」と題し次のように演説した

一、A・A会議は世界の問題に理性の声を注ぎ入れるだろう、われわれはアジアとアフリカのすべての精神的、道徳的、政治的な力を平和の側に結集することができる

一、「共存」と「相違」の中で「統一」が大切でありアジア、アフリカ人は結びつかねばならない、ここに代表を送った東方民族が会議を通じてもう少し理解を深めあい、お互いの真価を認めあい、お互いの問題についてもう少し同情を深めることができればこの会議は有意義であったといえよう、アジア・アフリカの結集なくしては全体としての世界の安全を守ることはできないだろう、各国は表面的には異なっていようとも、これ以上に重要な問題、たとえば植民地主義の廃止というような点に対処するにあたって結束していることを確信している

一、全世界の人口の半分以上を代表するこの歴史的会議は、植民地主義はすでに死滅したなどという言葉にだまされないし、なだめすかされたりしないであろう、アジア・アフリカの一部の国々はまだ鞭のもとに苦しんでいる、インドネシアを始めアジア・アフリカ諸国が経験したような古典的な形式のものだけが植民地主義だと考えてはならない、植民地主義は入りこんだ少数の外国人による経済的、文化的、物理的な支配という新しい仮面をかぶっているのだ、植民地主義はたとえどんな形態をとるにせよ有害なものであり、地球上から排除しなければならない

日本、中共などの国連加盟
支持を要請か

【バンドン十七日発ロイター＝共同】信ずべき筋が十七日語ったところによれば、パキスタン代表はアジア・アフリカ会議でカンボジア、セイロン、日本、ヨルダン、ラオス、リビア、ネパールおよびヴェトナム八ヵ国の国連加盟要請を提案し、同時にこれら諸国の国連加盟にたいし国連安全保障理事会の常任理事国は拒否権を使用すべきでないとの声明を行うよう会議に要請するといわれる

【バンドン十八日発AP＝共同】A・A会議の内情に通じた筋は十八日、A・A会議は中共の国連加盟を支持するかも知れないと言明した、同筋ではその根拠として開会冒頭提出を予定して作られた議題の一般原則をあげている、日本代表団は十八日、中共の国連加盟が討議されるものとすればそれは提出を予定されている七項目の議題の中の「世界平和と協力の促進」のなかでとりあげられることになろうといった

国会末期を予定
岸民主党幹事長談 保守結集の呼かけ

【大阪発】岸民主党幹事長は地方選挙応援のため十八日空路大阪入りし、国際見本市会館ホテルで記者会見を行い、先きの三木総務会長談話に呼応して、保守結集についてその所信を明らかにした、特に❶三木談話は正論であり保守結集は客観的な必要性をもっている、保守結集の機運を作るためには個々の重要政策について両党が話し合を進める、そのため今国会に憲法、選挙法、防衛三問題の審議会設置の法案を提案する❷再開国会は保守結集のための準備期間といえるが公式機関を通ずる結集呼びかけなど具体的な動きは国会末期になること、などを述べ、保守党が現状のように分立し政局安定が得られぬことは大きな不幸であると強調した

三木談話が民主党内外の反対にあい単なる三木個人の放言として葬り去られようとしているとき、岸幹事長が三木氏の主張を積極的に支持し、具体案をもってこれを証明したことは、保守党だけでなく両派社会党など革新派にも重大な影響を及ぼすものと見られる、

岸談話要旨つぎの通り

一、三木談話の趣旨には民、自両党とも共鳴する者が多い、民主党内では圧倒的といえるし自由党内にもかなりいると聞いている、特に財界には保守合同を望む声が多い、たゞ談話を発表した時が時だけに何か政府与党が非常な困難にあい、弱体で国会を乗り切れないのではないかという印象を考えたかもしれない

一、保守結集実現のための方策はまず具体的な問題を中心に両党の間で話合を進めて行くことだが、たとえば憲法、選挙法、防衛あるいは労働政策、文教政策など重要政策について話合うことがいい


岸民主党幹事長

緒方自由党総裁

【大阪発】十八日大阪入りした緒方自由党総裁は西区江戸堀の宿舎で同朝来阪した石井同党幹事長、水田政調会長らと落合ったのち記者会見で次のように語った

保守合同の基本方針には変りはないが三木民主党総務会長が個人の資格で突然合同論をいい出したことについては、その動機が判らないので今のところ批判するわけにはゆかぬ、保守合同ができるかできないかは客観情勢を検討したあとでないと軽々しく取上るべき問題ではない、

大阪で"第二声" 自民合同演説会

【大阪発】民主、自由両党は地方選挙応援のため十八日午後一時から大阪中之島公会堂にそれぞれ党幹部が集まり保守合同演説会をひらいたこの日まず緒方総裁は遊説先の四国から関西汽船で午前六時半天保山着、大阪入りしたのをはじめ、同八時五十一分大阪着急行で三木民主党総務会長、同九時十六分着月光で石井自由党幹事長、また午前九時五十分伊丹飛行場着日航機で岸民主党幹事長がそれぞれ大阪入りした

周・高碕会談 今週中に開く

【バンドン十七日発AP＝共同】（アンソン東京支局長）A・A会議に出席中の中共の周恩来首相は十七日、日本の高碕首席代表に対し今週個人的に会談したいとの招待状を送った、これに対し高碕氏は「喜んで招待をお受けする」と回答した、鳩山内閣が中共との通商関係樹立を公約していることにかんがみ、観測筋では周・高碕会談の意義を重視している

ヴェトナムの早期選挙確認
ネール首相希望

【バンドン十七日発UP＝共同】A・A会議のインド筋が十七日語ったところによると、インドのネール首相はヴェトナム総選挙の早期施行という昨年のジュネーヴ会議の決定をA・A会議が確認するよう希望しているようである、これにかんして南ヴェトナムのゴ・ディンディエム首相を強く支持している米国は、このような選挙を行えばインドシナ全土が共産側の手にころがりこむ結果になるだろうと信じているようである


宮内庁に到着したピブン首相

天皇陛下を正式に訪問
ピブン首相

十七日来日したタイ国のピブン首相は十八日午前十時半皇居に天皇陛下を公式訪問した、この朝宮内庁から後藤式部官が港区芝白金の迎賓館まで出迎え、ピブン首相は随員四名と宮内庁差回しの儀装馬車で十時廿分二重橋正門から皇居に参入、東休所で休憩ののち十時半表拝謁室で天皇陛下と会見した陛下はアクソン・タイ国大使の紹介でピブン首相とかたい握手のうちに公式の挨拶を交わされ、椅子をすすめてくつろぎながら河﨑御用係の通訳で歓談され、ピブン首相の紹介で随員一同にもお会いになった

各界まっぴらゴメン
(7) 財界の巻 (1)
不人氣の人氣役者
経団連会長は動くか……

半分は本当

X まず大物からいこう、五月六日の経団連総会に石川一郎会長は辞任するかネ

Y 辞めない、未練一杯で、それに規則が変って、会長任期は二年で、来年五月まである

Z 任期前に辞めると男があがるのだが、あの男にはそんな芸当はできないネ（笑）

Y 全くだ、常日頃は、適当な後任者があれば、俺はいつでも辞める、俺もソロソロ楽がしたいよと話しているが…

Z それは半分は本当なんだ、しかし、その言葉の裏から、自分以上の後任者はいるかネとヨロイの袖をチラチラさせるから、始末におえない

Y 君だろう、ペテンに掛ったのは…

Z ペテンとも思わないが…、廿七年四月早々か、たしか八幡製鉄の三鬼隆が木星号でやられる直前だ、石川は経団連会長を辞めて三鬼に譲り、自分は昭電社長に専念したい意向だと放送したことはある、結果的には笑われたが、あれは相当のニュースだったんだよ

Y どうして？

Z それに近い筋書ができていたのだから、しかし、三鬼は死ぬし、昭電の方は開銀総裁の小林中や、富士銀行頭取の迫静二らのキモイりで富国生命社長の佐竹次郎が横すべりする、昭電生みの親の娘婿にあたる安西正夫が専務に返り咲くことになり、石川自身、逆に会長に祭り上げられてしまった

社長の魅力

X 経団連会長より、昭電社長の方が魅力があるんかネ…

Y ある、日野原事件後、藤山愛一郎麾下の永井清次を社長に、石川は会長になったが、二人は内輪喧嘩した、石川は社長になりたがり、永井は石川を煙たがって…だから、永井が死ぬと、石川はスグ社長になった、社長の椅子というものは、われわれの知らない有難味があるらしい

Z 死んだ永井にも柳橋あたりに二号があったが、石川にも新橋かにあり、男の子まであるという話だネ

Y 女とは大分前に別れた、子供は不肖の子で、なんでもそれを種に昭電の秘書課ではヨタ者から大分金をシボられたらしい、金をくれなければ、聖人君子然としているお前の会社の社長の艶聞をバラすとかいって…

X 成程、経団連ではそんなモミ消し金は出ないからだネ

Z 石川も正直だ、数年前、神島化学の宮原社長のセガレの結婚式のとき、あるジャーナリストが祝辞にたち「石川さんのように品行方正、奥さん一本槍を貫け」と酒の勢いもかり、あることないこと面白半分に言ったら石川はその男の前にきて「違うよ、違うよ」とテレて弁明していたから…

愛される一面

Y あの席には肥料界の先輩がたくさんいた、石川のロマンスは有名だ、だから、ソラ…かったのだろう、しかし、その弁解するところがあくまで…で、愛される一面だ

X ところで、昭電社長は…なら、経団連は辞めてもよ…

境は…

Y 詮じつめれば、実入りがよいからだ、死んでも、元経団連会長では花輪もすくないが、昭電社長の現職で死ねば弔慰金も多いし

Z それは冗談だが、経団連会長といえば世間的には華々しいが、実質的に酬われるところは極少だ、その点、石川は気のどくだ、朝八時、九時からコマネヅミの様に働いて…、だから、日本化薬社長の原安三郎など「石川君を経団連から辞めさせるには、昭電社長にしなければ…不可能のことだがネ」と、笑っていた

Y 東芝の石坂泰三にせよ、開銀の小林中、それに日商の藤山愛一郎、北海道炭鉱の島田勝之助、いまの原安三郎にしても、現に経団連以上の実利的なポストを持っているんだもの、変りたがらないヨ

X すると、当分、石川一郎時代かネ

Z そこに石川の不人気の人気役者の所以がある、結論を急ぐが、今秋あたり、僕は副会長の植村甲午郎の昇格と見る、一部には渋沢敬三説があるが、ご本人は糖尿病で細君に逃げられており、当面、引受けて立つ元気はあるまい


上から永井清次氏、原安三郎氏、渋沢敬三氏、植村甲午郎氏


石川経団連会長



粋な辞典

奇談三題

ザンギリ頭

日本人がちょんまげを切って西洋風のざんぎり頭になったのは明治四、五年のことであるが、明治天皇は明治六年三月廿日に散髪せられた。そこで一般の国民もぞくぞく散髪した。それでもまだ古い頭の者は明治十年頃まで、ちょんまげを結っていた。

その頃「ザンギリ頭をたたいて見れば文明開化の音がする」という俗謡があったくらいで、結髪頭を頑固者と冷笑した。断髪令の出た頃、愛知県下で法令を履き違えて、夫のある女房がみな坊主頭になって、モノわらいになった例もある。

ヘラヘラ踊り

明治十年頃の落語家は、何か特殊の芸を演じて名を売ろうとした。円遊のステテコ、円太郎のラッパ吹きなどが好評を博したが、その中に、三遊亭万橘という落語家があって「ヘラヘラ踊り」というのを案出して、満都の聴衆を面白がらせた。

それは赤手拭を冠り、赤地の扇子を持って「太鼓が鳴ったら賑やかだんべえ、本当にそうなら済まないヨ、こらしょうのどっこいしょう、ヘラヘラヘラ、ヘラヘッタラ、ヘラヘラヘ」といって、身振り手振り面白おかしく踊ったものだという。

八幡の藪知らず

今でも市川市に入って市内を千葉の方へ行くと、途中八幡の藪のあったという所を通るが、これは確かに昔はあったものらしい。

延享三年版「本朝俗諺志」に「八幡不知」と題して、「下総国葛飾郡 八幡に 方十間ばかりの森あり、かりそめに垣を結びたり。この森へ入りたる人は再び出ざるなり。八幡の藪知らずということは」とある。



この森に擬して、迷宮式の一郭内に藪を造り、入場料をとって、その藪に入らせ、藪から無事に出て来た者には、賞品を与えるという興行が江戸時代さかんに行われた。これはその後明治十年頃にも復活して各地で大流行をした。明治十年四月十日の読売新聞に、「大阪の難波新地に出来た八幡の藪の中で、今月八日に、大声をあげて、助けてくれくと泣きさけびわめく故、何事かと居合せた木戸番がかけつけてきて『どうしたことだ』ときくと、廿四、五の六の男、涙をはらい『拙者ことは、島根県下出雲国大原郡幾日村野々村三益と申す医者でござるが、薬品買入れのため、今般初めて登坂（上阪のこと）仕り、江戸堀上通出雲屋永助方に止宿まかりあり、今日は閑ゆえ、運動かたがた当藪の中へはいり、かれこれ二時十二分間ほどに相成れど、何分出る道もなく、右へ行き当り左へ行き当り、当惑の余り、最早再び帰国もならぬと、思わず声を発した次第、面目次第もござらぬ』といったので、集った人々も余りのことに、おかしさを堪えきれず、皆一同に吹出したからマゴマゴ先生も大きに恥じて帰ったといいますが、藪の中で迷うぐらいでは、大かた藪に縁のある先生でありましょうが、東京でも『かくれ杉』また『八声鐘』などいろいろな藪ができて、迷う人が沢山あります」云々とある。

その翌々日の同紙の「大阪の景況」中にも「流行するのは八幡知らず、かくれ杉、八陣と種々の名をつけたマゴツキ道にて、これは六十五、六ヵ所もあります」とあり、今日のパチンコのような流行であったことが知れる。

その頃、東京でも、各方面の空地で行われたらしく、当時名高い文士や戯作者らが筆をとって宣伝文を書いているのもある。「…そなえも八幡の藪知らず、おなぐさみと運動を兼ねておはこび下さるよう……」などというのもある。二時間も中でウロウロすれば、運動にもなったろう。（明治奇聞による）

石黒敬七

財界春秋
老いて子に従わず
三鬼陽之助

東京急行の五島昇、日清製粉の正田英三郎、豊年製油の杉山元太郎、台糖の武智勝、名古屋精糖の横井広太郎、東洋製罐の小林富佐雄、彼等はいまを時めく人気会社の社長である。いずれも会長、相談役の父をもっている典型的二代目社長であるが、老翁の境地に入る常日頃は孫、ヒコを相手によき餘の生活を楽しんでいるこれら会長、相談役殿は、こと事業の話となると、急に耳をそばだて、鼻水をすすり、その情熱をふるい起し、にわかに斎藤実盛となる。これは子なる社長にとっては、時に心強くもあり、また厄介な話でもあるらしい。

手足が不自由で稲荷神社の鳥居のような朱ヌリの杖をついている七十三歳の五島慶太老の目からは、卅六、七歳のセガレ社長は社長道にすべり出したばかりとて、当分心配でならないらしい。一方、昇社長は「オヤジのような乗取りワンマン時代は過ぎた。私は文字通り協調、労使一体でゆく…」と新経営者思想に燃えているが、それが本当であろう。「私は死ぬまで社長の椅子は譲らない」と、超強気だった金太郎翁も、八十の声を聞いて、昨秋、しぶしぶ元太郎専務に社長を譲った。そして、過般の総会ではセガレ社長の見事な初議長ぶりに目を細くしていたが、イザ閉会という直前、やおら立上って「私は社長をセガレに譲り、会長となったが、死ぬまでこの私のつくった会社に出勤し、ご奉公いたしますから、どうぞ…」と、あいさつをした。台糖の武智社長は昨年が本卦還り、日清粉の正田社長も五十の坂を越して、それぞれ折紙付の名経営者を謳われているから、さすがに後顧のうれいがないらしいが、それでも時々社業の報告をしないとご機嫌がよくないらしい…。

もっとも、信越化学の小坂順造、特殊製鋼の石原米太郎、神島化学の宮原清、大阪造船所の南俊二等々、いずれも七十乃至八十の坂に達しているが、なお社長の椅子にすわり、副社長、専務、常務と成長したセガレを子供扱いしている。そして自分は卅、四十代で相当にあばれ、謀叛し、策略をめぐらした事実を忘却した如く「あんな若い者にマダマダ社長は勤まらない」と豪語（？）する。しかし、経営の実状は南長崎専務のいうように「オヤジは一万トン以下の船の注文をとるなとドナるが、何百人の従業員を擁し、カラッポの船台をかかえて、そんなぜイタクはいえない」と、嘆くのが本当である。

それにしても、あわれな一連がある。例えば日本エタニットの篠塚宗吉老社長である。昭和六年創業以来、苦心惨胆、漸くここまで漕付けてきたものの、杖とも頼む娘婿の実常務が碌に仕事をせず、養子風をふかして社内外から総スカンで、父社長も「あれを辞めさすか、転職させない限り、この会社は安泰でない」と筆者に洩しているからだ。老いて子に従わずではなく老いて子を従わしめ得ないのである。現実的には、この老社長が一番気の毒であろう…。

一億八千八百万ドル
日台年間貿易額を発表

【台北十七日発UP＝共同】日台… 砂糖取引高は四十万トンに上り、CIF価格は百十二ドル…

市況 石油株買わる

週明けは引続き予算問題の成行きや政局の動きに注目して見送り人気濃く全般の市況は底固いうちにも、散漫な小浮動状態を脱めない、特定株も…ほとんど前日付近にコゲ付い…

東京株式仲値
□新株落 △配当落 （18日前場終値）

特定銘柄	
東海上	291
郵船	61
新三菱	87
日清紡	286
味の素	291
三越	280
平和不	202
三井金	109
三菱金	91
日鉱	81
住友金	97
三菱鉱	41
古河鉱	69
同和鉱	114
住友炭	63
三井山	59
北海炭	55
東邦亜	66
帝石	62
日石	90
昭和石	91
東燃	149
三菱石	99
大協石	111
日東化	70
日産化	74
三菱化	94
三井化	105
昭和肥	103
東合成	101
信越化	84
東高圧	109

昭和工	76
日本曹	73
旭電化	70
三菱造	73
三井造	105
三菱重	62
石川島	95
[illegible]工	143
東洋ベ	115
日立造	43
浦賀	46
日平	26
古河電	67
日立製	71
東芝	66
三菱電	90
小松	67
日本光	144
キヤノ	142
東京光	44
東洋紡	138
鐘紡	128
富士紡	113
大日紡	84
日東紡	60
片倉	36
呉羽紡	84
東邦レ	107
[illegible]	64
中[illegible]	54
帝人	119
東洋レ	158
三菱レ	121
倉レ	72

旭化成	306
山陽パ	98
日本パ	91
国策パ	97
東北パ	113
大東紡	92
商船	53
三井船	50
飯野海	44
西武	363
藤田興	229
東京ガ	64
東電	429
日銀	—
東銀	76
三井銀	—
富士銀	86
日証金	92
安田火	115
大正海	88
住友海	81
千代田	—
鋼管	69
日製鋼	76
八幡鉄	51
富士鉄	49
神戸鋼	59
日特鋼	135
日軽金	171
日金工	60
日セメ	128
磐城セ	225
小野田	77
横浜ゴ	199
旭硝子	140
富士写	118
小西六	106

カボン	52
三井物	142
第一物	95
白木屋	238
高島屋	78
日活	81
松竹	201
東宝	1253
大映	175
日本粉	119
日清粉	147
日本ビ	155
朝日ビ	175
キリン	200
宝酒造	78
台糖	196
明糖	109
甜菜糖	110
野田醤	193
森永	261
明菓	153
日水産	74
昭和産	76
東洋醸	92
合同酒	99
三楽	75
大阪糖	153
王子紙	194
十條紙	206
本州紙	87
三菱紙	95
北越紙	49
三井不	797
三菱倉	511
三井倉	90
澁沢倉	102
東洋埠	192

内外抄

バンドン会議の幕あく。立回りをやる舞台ではなく、有色人種が手を握りあう場面。

◇

各国首席代表の大会演説は抜きにしてプリントで配る。わが国会でもさように願いたいのでござる。

◇

防衛力の増強で民主党はご満悦。これからは「武士は食わねど高楊枝」をよく教えこむんだね。

◇

ピブン首相、ようこそ。久しい親善国の大宰相「世界的英雄」にたいし特別級の敬意を表す。

◇

興安丸でダモイした人々、迎える「日の丸」の旗に泣く。きょうこそ知る祖国の味。

ないがい川柳 吉田稀司選

法廷生土地のもめごと頼まれる 中野 高野義太郎
家出の娘女になって職があり 中野 保櫓田伊公
歌舞伎座へ行く日を母の少し刷き 市川 松澤 殷行
聞きどころあらまし女房いって出る 横浜 西村 次也
【賞】ほんとうは惚れあっている漫才師 神奈川 生真 坊主
手ぐらいは握ってほしい朧ろ月 中央 猪刈 帆児



浅草の虫 (143)
浜本浩 作 栗林正幸 画

天使の皿 (六)

ストールを冠った梅子を、先に乗り込まして羅生は運転台へ声を掛けた。

「柴又へ行 こう、帝釈天の 近くだ」

「はァい、寺島の都電通りを真直ぐ四ッ木に抜けまして、金町から右へ入ります、よろしうございますか」

「うん」

男爵は、丁重にきく。

羅生は、江東の地理に暗かった。

助手席の貫一は、ジャンパーの襟をピンと立て、鳥打帽を眼深かに冠っている。上衣も帽子も、手渡されたばかりの新品である。眼立たぬように色眼鏡は使っていない。が、梅子はまるで気付かぬらしい。

言問橋へ差しかゝった頃男爵は呟くように云った。

「解ったか？」

「うん」

貫一は、バックミラーを睨んで鼻を鳴した。

鳩の町をすぎて間もなく、前方の屋上に授産所の青いネオンが浮んで見えた。その辻を右にとると旗野梧郎の出演している大衆劇場まで二町あまりしかなかった。

「右にまがったほうが近いぞ」

柴又と聞いたとたんに、貫一はそのコースを頭に浮べていた。成功すれば、五分後には、梅子を無事、梧郎に手渡すことができる。が、貫一の下心を読み取った男爵は、折柄の青信号を幸い、そしらぬ顔して真直ぐに突き切った。

「畜生ッ」

貫一は舌打ちした。

「勝負だッ」

男爵は、仲間の隠語で答えた。

客席の二人は、一こうに口を利かなかった。たまに、擦れ違う車のヘッドライトが、蒼ざめた梅子の顔を、バックミラーに映し出した。

貫一は、ジャンパーのポケットに潜ませていた拳銃に、手を掛けた。羅生から渡された九四式の軍用銃だ。

「男爵、寺島へ還えせッ」

貫一は男爵の横っ腹へ銃口を突きつけた。

と、男爵は、端麗な顔に微笑を浮べ、アクセルを踏んでスピードをあげた。

四ッ木の橋が眼の前に迫って来た。

と、男爵はハンドルを切り、放水路の堤防へすべり込む。



貫一は、助手席から、振りかえって、客席へ銃口を向けた。

「梅子、俺だ。トオさんだ。助けてやるから、安心しろ」

が、梅子は、キャッと悲鳴をあげて、羅生にし噛みつく。

羅生は、梅子をかばいながら、喚いた。

「誰だッ、おまえは誰だッ？」

「そいつのオヤジですよ、旦那」

そうきくと、羅生はふるえながら、答えた。

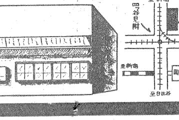
「なァんだ、君か。昨夜は失敬したよ。まァ、そんな物騒なものを引込めてくれよ」

「冗談じゃないぜ。昨夜、どうしたというんだ。おめえに逢ったのは、今日が初めてだ。その手で梅子を、たぶらかしたな。いゝから、梅子を残して車から降りなさい」

貫一は、ピストルを突きつけて指図した。

車は、いつの間にか、暗闇の土手道に停っていた。





聞いて踊って樂しんで…逢引料100円ナリ

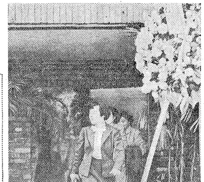
…若・人・の・人・気・獲・得・を・目・指・し・て…

展開された「ジャズ喫茶」リーグ戦

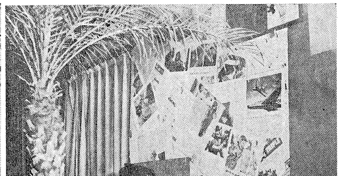
近ごろのデイトは「ジャズ喫茶の〇〇で待ってるわよ」というのが流行、たった百円のコーヒーでジャズを聞いて踊って何時間でも遊べるとあれば若人達にうけるのも道理というわけで、一昨年暮銀座に「T」が開業したのを皮切りに、デフレ打開に悩む業者が続続とジャズ喫茶に転向、バンド出演でナマで聞かせるというほかに、劇場スタイル、ダンスホールスタイル、サロンスタイル、ローソクの消えるまでというハラハラさせるようなキャンドルルーム（銀座B）など大小とりぐで廿軒近くに増えてきた、赤坂のナイトクラブ「R」新宿のアルサロ「J」銀座の「M」なども昼間はジャズ喫茶で一稼ぎ「踊れる方がはやる」とあって始めは聞かせるだけだった新宿の「G」「J」もホール型に改装したりで、いまやジャズ喫茶も競争時代、楽団のギャラは一流どころで一日二回の出演料が二万円位、二、三流で四、五千円が相場というが、一流が出れば客がつくというわけで、支配人は一流どころのひっぱり交渉に大童、ギャラや設備に大金をかけて、たった百円のコーヒーではそうは儲かるまいと思うが、こうなっては「出血作戦も致し方ない」とばかりに各店それぞれ客引合戦を展開している、題して「ジャズ喫茶リーグ戦」果して軍配はどこにあがるか、その特徴をペンとカメラでとらえてみた



劇場スタイルの店、一杯百円のコーヒーで何時間でもネバれる、話声などはない、寂とした場内に甘いハワイアンギターの調べが流れると、握り合った手に汗がにじんで、彼「…」彼女「…」ただだまっていた、常連が多く、出演バンドにはそれぞれファンがついている、客種はサラリーマン、オフィスガール、男女学生で日に七百人位は入るという、午後四時ごろが一番混む、夜はナイトクラブに早替り（新宿Oにて）



「よかったワ」ほんのり上気した女学生達、レンガ造りの玄関に透き通ったプラスチックのドア、外観だけは一流キャバレー並み「いらっしゃいませ」とドアボーイのサービスにティーンエイジャー達もつい大人になったと錯覚、ガールフレンドの手をとって胸を張る（上野Nにて）



レコードで聞かせるジャズ喫茶、コーヒーは六十円、アメリカ雑誌を壁にベタベタ貼ったのが特徴、アチラ好みの学生が多い、レコードの合間にヒソヒソとなにやら議論、題して「インテリとジャズ」（渋谷Hにて）



ハイファ（高忠実度）を使った演奏装置と美人ウエイトレスが御自慢、昨年七月の開店にはミスジャズを募集、選出して銀座、新宿をオープンカーで練り歩き大いに宣伝効果をあげた、ジャズ娘卅人の募集に「どうせ働くならジャズと共に」と六百人も集ったというから、ジャズの人気のほどがうかがわれる〝ジャズと美人〟は学生達に人気がある、客は男学生ばかりなのもいうまでもない（渋谷Jにて）

あすの運勢

＝四月十九日＝　高島象山

▲一月生―何事も思う事叶い商売繁昌あり就職開業移轉造作はよし
▲二月生―目標を定めて一筋に努力すれば平穏の内に稼業繁昌あり
▲三月生―物事に浮沈を生じ変化が起り易いから消極的に自重せよ
▲四月生―経済的に有利の義ありて商売繁昌あり交渉纏る開店よし
▲五月生―事業進展ありて利益多き日柄なれば新規事業を起すに吉
▲六月生―物事強引にして事を破り剛情にして和を缺き失望有易い
▲七月生―何事も順調に進展し商人は思惑的に成功あり社交有利也
▲八月生―技倆を発揮して努力して効多し積極的に活躍して利多し
▲九月生―男子は外に女性は内に共に悩多し親類身内の事で心配有
▲十月生―気運旺盛で商売繁昌あり遠方の取引に利多し旅行はよし
▲十一月生―政策に捉われず現実的に活動して有利なり移轉開業吉
▲十二月生―何事も自然の成り行きに任せ保守的に努力して無事也

風流世界譚 ……（セイロン）……

ある町で強盗、暴行事件が起き二週間経っても解決がつきません。早く犯人を捕えなければ警察の名折れになるというので刑事が全力を挙げて捜査に当っていますと、ある日ハンスク刑事が張っているところに、人相の余りよくない一人の男が通りかかりました。「モシ、モシ、何処に行くんですかあなたは」「エ、へへへ、何処へってその…、彼女の家なんで…」「ふうん。じゃ、それを見せてご覧」大事そうに持っている包みを開けてみると、中から出てきたのはペンチとノコと懐中電燈それに細ヒモ。これはいよいよ怪しいというわけで、ハンスク刑事が「署まで一緒に来て貰いたい」と同行を求めると「どういう理由で」「強盗事件の容疑者だ、キミは。この道具が何よりの証拠なのだ」するとくだんの男、憤然として「道具を持ち歩くことが証拠とおっしゃるんですか。じゃ、同じ理由で、ぼくを暴行事件の容疑者にしようッてわけですね、刑事さん」

モダン歳時記

一億の摘み食い

昭和廿五年四月十九日、当時の鉱工品公団総裁の言葉を藉りると「単なる女中の摘み食い」なんだそうだが、公団の一億に近い大金を使いこんだ早船恵吉(三七)が恋女房のミス東京たる真鍋栄子さんと一緒に自首して現れ、世間をアッと驚ろかせた。彼は廿四年二月頃から高橋一郎名義の銀行預金一千万円余をもち、高級車を乗回し、寸分のすきのない貴公子スタイルで銀座界隈のバーやキャバレーに現れた。その彼の目にとまったのが、昭和廿二年のダンサーから選ばれたミス東京、メリー・ゴールドの踊り子真鍋栄子さんである。

女の欲望のすべてを満してくれる金をもった若い早船の前に、このホールの女王は一コロだったのだろう。廿四年十月には正式に結婚したが、その頃から彼の身の回りにはそろそろ疑惑の目が向けられていた。彼女は彼の瀆職には直接関係はないが、彼女を得て彼の虚栄生活はますます激化したようだ。オオ・ミステークの山際と藤本左文、ギャングの正田とその情婦など、一連のアプレ型のタイプには何か共通性がありそうだ。そういえば昨年の今日は鏡子ちゃん殺しのあった日でもある。（鮭）

動物園春宵浮噺

どうぶつえん はるのうかればなし

―その8―　＝クマの巻＝

見せつけられる居候

＝住宅難で夫婦熊に同居＝

性質は稀代の気マグレ

○……北極熊のロマンス……○

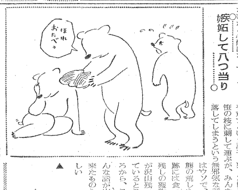
熊といっても北極熊、ヒグマ、日本熊、マレーグマとその種類は多い、近ごろのように暖くなってくると、ザブーンと水に飛び込んで泳ぎ回る北極熊がいかにも涼しげで見ていても気持がよい、北極熊は夫婦者で、細君は雪子さんというが、亭主の方は名前がない、不公平な話だ、動物園のオジさんに聞いたら「ヘッヘッヘ」とごまかし返事、やはり女は得だということになる、夫婦の営みは、冬、穴ごもりをしたときにするという説があるが、お産は大抵二月ごろで、妊娠期間は七、八ヵ月というから逆算すると七、八月の真夏のころらしいアイスクリームの商標にでもなりそうな真白な北極熊が、真夏の陽の下で交わり戯れる姿などは、想像しただけでもロマンチックではないか、そういえば亭主〝名無しの権兵衛君〟も最近催しているらしく、雪子さんの後ばかり追いかけている、雪子さんの方は実りまだ熟さずとみえて「いやいや」をして逃げ回っているようだ、これじゃ権兵衛君もノイローゼになるのではないかと心配になってくる

○……嫉妬して八つ当り……○

動物園も住宅難、オリの数が足りないので、ヒグマも日本熊もそれぐ夫婦のところに同年配の男が居候している、日本熊の夫婦は岐阜県生れの野風君と山風さん、同じ年の九歳で、人間でいうなら廿四、五に当るから青春も盛りというところ、ここに同年配で福島県生れの白河君が同居しているのだからうまくゆく筈がない、おまけに野風夫婦はまことに仲がよい、白河君などは眼中になく、肉は分け合って食べる、見ている前でイチャイチャするという始末「こう見せつけられたんじゃたまらねえや」と白河君が怒るのも無理はない、だから白河君はときどき狂ったように暴れ出す、三年前飼育係のY君は餌をやろうとして白河君に引張り込まれ、噛まれたり、たたかれたりの暴行を受け、一ヵ月も入院したことがある、原因は嫉妬の八つ当りだったことはいうまでもない、住宅難が起した悲劇である、従って飼育係のオジさん達はこのオリに近づくときはビクビクしている

○……ウマい？　産児制限……○

北極熊、ヒグマ、日本熊とみんな夫婦者だが、揃いも揃ってまだ子供は出来ない、熊の子供は生れたときが五百匁位だが一年後には八貫目、二年後には十貫目と成長は早く、四歳位で大人になる、子供の頃はご承知のようにコロコロして可愛らしいが、大人になると中々うるさい、性質は気まぐれで、移り気、機嫌がいいと思って油断しているとガブリとやられてしまう、故郷にあっては木の実、果物、肉、魚となんでも食べるが、飽きっぽくて、餌を片っぱしからたたいて獲るのはいいが食べ始めるとすぐ飽きて果実畑を荒すという調子、獲った餌を笹の枝に刺して運ぶが、みんな落してしまうという無邪気な話はウソで、熊の荒した跡には食べ残しの獲物が沢山残っているところから、こんな話が出来たものらしい



浪人街道（131）

木村荘十　作
野口昂明　画

素性（二）

「美代吉姐さんの使いだって？」

「へえ」

佐吉は、ちょいと首をかしげて云った。

「向島の寮だか、別荘だか知らねエが、そこには何という人が居なさるんだね」

「御新造さんは、お春さんとか仰言いました」

「ふん、それで使いの用件は？」

「美代吉さんが、何か浅香様の…ええ、わっちは大和屋の旦那様には、永い御ひいきを蒙っている者でして…他言は致しませんから御安心下すって…で、その浅香様に大事なお知らせが御座いますので甚だ勝手では御座いますが、吉原まで御足労を願いたいと、こういう訳で」

「美代吉が吉原に？」

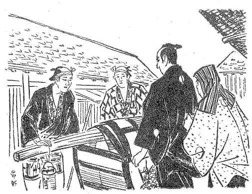
「へえ、それが御新造さんも、大和屋の旦那様も御一緒の模様なので…」

啓之助は、ちょっと眉を寄せて云った。

「大和屋さんというのは、あの大通の大和屋さんだろう。俺はあんまり気がすすまないな」

啓之助は、蔵前の町人達が、金の威光で、武家を武家とも思わない態度が気に入らなかった。

浪人こそしておれ、浅香啓之助は元旗本のお歴々だ。用があるならそっちから来たらどうだという気持があった。



狂斎は、直ぐに啓之助の気持を察して、わざとおどけて云った。

「啓之助さん、出かけやしょう。行ってやらなくちゃ可哀想でげすよ。美代吉はあれ以来、中洲はもとよりのこと江戸をうっかり歩けない身の上です。飛び立つほどに思えども、来られねエで、どんなに気をもんでいるか分りません。それに、大通といやァ、気障の親玉見たいなものでげすがね。大和屋さんというなァなかなか気合のいい人でしてね。お侍と町人の違いこそあれ、話がきっと合いますぜ」

「そうかなァ」

啓之助の、そうかなァという言葉の裏には、そんなことはあるまいという意味が読めた。

「まァ、この狂斎にだまされたと思っていって御覧なさい。侠客を気どっても旦那は旦那で、町奴や町火消のような妙な強がりは見せず、やはり品のいいものですから」

「うん」

「それに、一度は吉原の全盛を見ておくのもよろしゅう御座いましょう」

狂斎は、何か考えがあるらしくしきりに啓之助を誘い出そうとした。

「狂斎さん。あなたもお供するんでしょう」

佐吉は、使の者に気ずかれぬように（大丈夫ですかい）と眼できいた。

「ああ、心配はない。このことでは、拙も大和屋さんに頼んであるのだ」

「では若旦那、行っていらっしゃいまし」

佐吉は、これがもし啓之助を誘い出して、討とうなどいう帯刀の企みだったら、その裏をかいてと腹をきめていた。

「では、お迎えの好意をうけて行くとしようかな」

啓之助も、そうした空気に闇討ちを覚悟で、愛刀をひっさげて迎えの駕籠に乗り込んだ。

愛読者優待

浮世絵鑑賞と温泉入浴

☆東京駅から箱根強羅を往復遊覧バス使用、古美術鑑賞、温泉入浴等一切を含む（但し中食ご持参のこと）半額優待一名（通常料金一千円を）五〇〇円（小人二五〇円）

箱根強羅（日帰り行楽）　6月30日まで定期バス運行

☆遊覧コース・東京駅八重洲口（前八・〇〇）出発、江ノ島―小田原―強羅常盤ホテル―美術館―強羅出発（後三・三〇）東京着（七・〇〇）☆この社告切抜き前売所で参加会員券（会費五百円）をお求め下さい☆前売所・本社事業部（56）八六四六、箱根登山バス（28）四四〇二、他に白木屋、松坂屋ビューロー、国鉄ガイド、小田急京橋案内所

後援箱根登山鉄道・主催内外タイムス社

ソ連帰国者舞鶴へ

閣下は軍服、戦闘帽で

感激の上陸 額に刻む十年の辛苦

【舞鶴発】丸一年ぶりのシベリアの狂客を乗せて第三次ソ連帰国船興安丸（七、〇七七トン）は十八日午前六時四十五分、雨雲深くたれこめた舞鶴港に入港、大丹生沖検疫泊地にイカリを投じた、帰ってきたのは元陸軍々人廿一名、同軍属十名、同海軍々人一名、一般人五十六名、計八十八名で、十年の長い年月をラーゲルの辛苦に耐え抜いてきた人々だ

【舞鶴発】八十八名の帰国者全員を乗せた上陸ランチは、九時卅分興安丸を離れた、こぼれるばかりの日の丸を打ち振ってランチが援護局桟橋に近づくと、約百五十名の出迎え家族たちも日の丸の小旗を手に手に待ちわびていた、折から降り始めた霧雨の中で描かれた〝日の丸〟と〝日の丸〟の再会の図はこれまでのどの引揚げの場合よりも感激にあふれていた

富永元中将の一人息子滋君（一八）＝慶応大学一年生＝が上陸を待ちきれずランチに飛び込んで父にすがりついた、小学校三年の時別れて以来十年ぶり、スマートな慶応ボーイに成長したわが子を抱きしめて泣く富永氏、この時だけは〝閣下〟の鎧をかなぐり捨てた老いた父の姿だった

日の丸をささげ持つ青年を先頭に三列縦隊を作って家族の群の中へ上陸が始まる、一歩一歩〝これが故国の土だ〟とたしかめるように進む、それに家族が飛びつく、無量の感に言葉が詰る、最後に上ってきた軍服、戦闘帽姿の富永元中将の前に東京都の駐在員が不動の姿勢をとった「閣下お迎えに参りました」「いや有難とう」と答えるのも昔ながらの挙手の礼〝日の丸帰国〟にふさわしい上陸の幕切れだった、こうして帰国者たちは暖い家族たちの愛情に見守られながら同十時半援護局第三寮の畳の上に落着いた



写真 ㊤興安丸船上から日の丸を振って歓迎船にこたえる帰国者㊦富永元中将、息子と感激の対面＝舞鶴共同電送＝

逃走将軍とんでもない

思出の比島特攻戦 富永元中将と一問一答



【興安丸で高橋共同特派員】高血圧と老齢のため廿五年という最高刑から釈放されて帰国した富永恭次元中将（六三）＝終戦時、満州敦化（とんか）の一三九師団長＝は、同船上でホッとした顔つきであった、この人はかつては比島方面第四航空軍司令官として陸の特攻作戦を指揮、多くの若人を敵中に突っこませた人でもある、敗色濃い比島戦線をしり目に、飛行機を駆ってただ一人帰還し、このため生き残りの特攻隊員のなかには同中将を非難〝逃走将軍〟などとかんばしくない名前を頂戴している

乗船記者団の一行はどの帰国者よりもさきに同中将に会見した、戦後十年という長いラーゲル生活からやっと解放されたこの老人に当時の実情をたずねるのも気の毒な感じであったが〝世間の誤解〟を一掃する意味であえて望んだわけである、乗船当時のダブルの背広から早くも軍服姿に変った同氏の右半身はあまり自由ではないらしい、したがって言語は相当に明りようさを欠いていた

問 比島作戦について…

答 戦いの主体は陸（陸戦のこと）にある、私が勝敗を決する地位にいたものであったならばいえるが、それは…なんともいえない

問 いや、当時の特攻隊のことについてたずねているのだが

答 私の作戦が十分でなかったために所要の効果をおさめず、幾多の純忠なる英霊にたいし敬けんな祈りを捧げたい…、また遺族の方にたいしてもお詫びのしようがありません

問 ハッキリ申しあげると部下を捨てて逃げたのではないかといわれているが、歴史を訂正する意味でも事実を知りたい

答 （ヒタイに青筋がサッと走り一段と語気を強めて）部下をおいて逃げるような軍人は足にもかけられない、そのような軍人が再び大元帥から親補職を賜るか！ そのようなことは絶対にいわんなかったか

問 当時病気（マラリア？）ではなかったか

答 それについては申しまへん――そんな指揮官は一人もおらん、否定はするがいいわけはしない――ややコーフンの面持でもあり問答はこれで打ち切った、だがいかにも性格の強そうなこの〝閣下〟も留守宅の模様を伝えるとしばらく…

関東関係の残留者

【舞鶴発】帰国者のもたらした情報によればソ連残留邦人は二百八十二人だが、そのうち関東近県で氏名の判明したもの次の通り

△東京都 本吉博司、陸軍少佐椎葉克巳、坂上吉太郎、椎山博、小森よし孝、阿部実雄、鈴木操、岩井六郎、吉川繁男、桂昇、佐藤成一、広瀬兵吉△神奈川県 長峰正吉河、野宏、吉岡昭三（横浜）△千葉県 石橋文平、川島武夫△群馬県 飯島良雄、高渕重美、大山光治△栃木県 露島秀夫△山梨県 渡辺良一、芳賀辰夫、加賀美幸△静岡県 鈴木睦吉、薮田博美、根本貞雄

目立つ特赦や減刑

明るくなったソ連の囚人政策

帰国者たちの話から推定するとソ連の対〝囚人政策〟は次第に変ぼうを遂げつつあるようだ、まず第一に政治犯にたいするつぎのような減刑処置だ

❶、老人、不具者、若年者にたいする特赦措置❷、犯行当時少年であった者で刑期の三分の一を服役したものには再審によって釈放する❸、作業成績による減刑❹、所長の権限で刑期の三分の一と、三分の二を服役した者で品行のよい者には釈放をあっせんできることなどである

このような措置は昨年暮ごろ実現いずれもマレンコフ政権のお土産である、このようなスターリンの暗黒時代とマレンコフの時とでは囚人政策にたいし大きな落差が認められる、一説によるとこのような措置はブルガーニン政権になってから何らかの改革があるように伝えられているが明確なものとはいえないようだ

迷路ガイド

解答 織田恒彦

遅い夫の帰宅、飲酒

與えられぬ満足、病床の妻の不安

問 …その後再発することもなく、一昨年秋廿五歳で結婚しました、ところが昨年十月、風邪がこじれて肺炎になり、レントゲン診断の結果、米粒大の空洞が左肺に数ヵ所発見されました、幸いストマイ、パス、ヒドラジットなどの薬のおかげで現在安静度五度にまで回復、自宅療養中です、発病以来毎日勤めの帰りに病院を見舞ってくれた夫が、自宅療養に移った今年になってからは帰宅が遅く酒くさい日が多くなりました、夫の要求を満足に容れられないことが原因でしょうか、私としては出来るだけつとめているのです、最近になって私の実家から、離婚して帰ってこないかとの話もあり、どうしたらよいかと迷っております、私の病状だと結婚生活を続けることは不可能でしょうか

答 結婚した女性の…というものは結婚生活にとって大きな障害ですが、これを乗切る力は夫婦間の強い愛情以外にはないでしょう、ご主人の飲酒や、帰宅の遅い原因は、たしかに貴女のおっしゃることも考えられます、しかし、それがすべての原因と考えて、早まったことは慎まねばなりません、また文面でははっきり貴女の病状がわかりませんが、現在安静度五度でしたら、翌日に疲労が残らぬ…

競争候補に辞退強要

かんべ土地社長 選挙妨害で逮捕

大井署では十七日夜品川区大井権現町四五かんべ土地会社々長神戸与平（四八）を公選法違反の疑いで検挙した、調べによると神戸は四月上旬から数回にわたり品川区の保守系某都議候補のために、他の保守系某都議候補と区議某候補を呼びつけ「立候補を断念しろ」とおどすなど選挙運動の自由を妨害していたもの

革新系で二名

大井署では十七日午後品川区南品川三の一一九工員新堀俊輔（三七）同町五の一九二電気器具商酒井博司（三九）の二人を公選法違反（脱法文書配布）の現行犯で逮捕した、調べによると両名は品川区伊藤町一帯数千軒を戸別訪問して同区革新派某都議候補の写真入りビラをくばっていたもの

刑事を装う辻強盗

〝元憲兵中尉殿〟を襲って御用

十八日午前零時四十分ごろ新宿区下落合四の二〇六六会社社長中越三郎さん（五八）は、酔って帰宅の途中、西武線中井駅ガード下先の暗がりで、後ろからつけてきた若い男に「お前は共産党員だろう、おれは警視庁の刑事だ、あやしいから身体検査をする」と呼びとめられたので「わたしは証券会社の社長で、共産党員ではない」と断わると、男はいきなり素手でさんの顔をなぐりつけ、ひるむすきに背広のポケットから現金…手形、証券などを奪って逃げようとした、元憲兵中尉で気の強い中越さんは賊に組みつき、格闘中通りかかったタクシーを止め、つかまえた賊を乗せて近くの戸塚署高田馬場駅前交番につき出した、調べでは住所不定無職上林三郎こと朝鮮人洪…

銀座殺人に関係なし

築地署調べの中西、白石

さる三月廿三日中央区小田原町一の一五日本酒類販売株式会社営業部長間島竹雄氏宅へ押入った、四人組強盗事件の容疑者として築地署に留置取調べを受けていた同区新富町二の一五中西義光（二七）は銀座雑貨商殺しとも関係があるのではないかと追及されていたが、関係がないことが…自供、強盗傷害容疑で同署に留置された

二人組自動車強盗

ナイフ突きつけ三千円奪う

十八日午前…芝田村町二の…手根岸秀雄さん…乗せた若い二人組にナイフで脅され…六百五十円を奪われ…届出た

虎の子40万円盗難

裏から侵入 容疑の米兵逮捕

【横浜発】十七日午後十一時半ごろ横浜市港北区日吉本町一八八二飲食店吉田一忠さん（三五）宅で主人不在中裏口から賊が侵入、六畳間に置いてあった現金四十万六千円在中の手提カバンを盗まれたと神奈川署に届出た、間もなく現場付近…

女給のカメラを強奪

東海道線に土砂くずれ

急行八本延着

女子も五勝無敗

世界卓球 きょう、優勝への〝ヤマ〟対ユーゴ戦

次期 東京開催か



珍版 刑事部屋日誌 ④

刑事の心境

鐘子ちゃん殺しの坂巻に死刑の判決が下った。彼は犯行の昨年四月十九日から十七日目の五月一日に、捜査一課の池田刑事と本富士署の町田刑事に逮捕されている。

殺人事件が発生すると、特別捜査本部が、事件発生管轄署に設置されて、殺しの捜査に経験の多い捜査一課の刑事と、管内の事情に明るい所轄署の刑事とが二人一組に組んで、各組に分れ懸命の捜査に当る。刑事の心境としては、それこそ寝食を忘れて犯人の発見検挙に努めるが、いざ犯人（正確には被疑者）を逮捕し、自供を得て裏付け捜査も完了し、送検して、検察庁の手に移ってしまうと、もう刑事としての手は抜けるので、決して自分が逮捕した犯人の刑が重くなってくれた方がいいと願っている刑事は一人もいない。刑事と聞くと鬼をもひしぐ男と思われ勝ちだが、その実、情にもろい男が多い。ただ、犯人を検挙するまでの意気込みは物凄く、証拠固めをして、犯人を追いつめるまでには部外者には判らぬ苦労がある。坂巻を挙げるまでには、その十七日間に、本部では、十八種の手口に基き、四百六十名を捜査し、ほとんどを白と決定し…



…また各署では三百卅九名を捜査し、内二百廿一名を白とし、残余を引続き捜査中だったのである。

犯人検挙の端緒は、前記の池田刑事と、所轄署の森刑事が、坂巻地取り捜査をして聞込中、坂巻という名を聞きつけ、さらに捜査を進め、彼がかつて静岡県富士郡の富士結核療養所に入院したことがあったことを探知し、わざわざ現地に行き、血液型がO型で、容疑者のものと同一であると確認し、五月一日午後一時卅分頃、実父方で逮捕した。当時彼は山谷の宿泊先に四百六十四本のヒロポンを隠していた。

殊勲の刑事は同情

坂巻修吉、もって瞑すべし

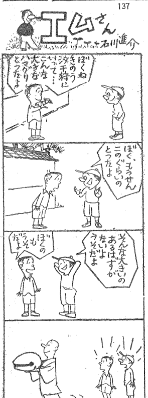
…坂巻のことから連想されるのは、四年前の西新井署管内の圭子ちゃん殺しのことである。この事件は、昭和廿五年十一月二日工員松永さんの五女圭子ちゃん（三）が絞殺された事件で、一時迷宮入りを伝えられたが、翌年一月卅一日、犯人松岡金次郎（三五）が、自分が殺したと自首してきた。その後、いろいろ捜査したところ、松岡の犯行に間違いないと断定されたが、犯人の松岡は精神病者であるとの鑑定を受け、結局無罪となって精神病院へ送られてしまった。のち一度脱走したが、捕えられて病院に送られた。しかし、彼には細君もいて、子供も三人いる。細君の話によると変態的なところがあったという、男娼買いであったことが警察の調べでも判ったが、とに角、一応は家庭を営み、父と呼ばれたことのある男である。それに比べると、坂巻は歳もまだ若いし、結核患者でもあり、ヒロポン患者でもあった。無残に殺された幼女は、鐘子ちゃんにしろ、圭子ちゃんにしろ、実に気の毒ではあるが、犯人坂巻も罪はにくみてあまりあるが、一度調べると人間的に情がかよって何だか可哀想な気もする…。とは、かつて彼を必死になって追った某刑事がこっそり筆者に語った言葉である…。

（佐藤睛一）

エムさん

石川進介

137



独眼灯

老婆の水死体

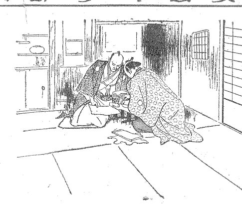
（第三種郵便物認可）　（新聞定価一部四頁5円・八頁10円・一カ月200円）　内外タイムス　昭和30年4月19日（18日発行）（火曜日）（第3071号）

続 情炎の千代田城 91

岩崎 栄　寺本忠雄 画

米（八）

ソロバンと書きつけらしいものとを、膝のわきに置くと、近江屋治兵衛は、なれた表情に笑いを含んで、
「殿様、およそこのあたりに落ちつきましてござりますが……」
「ウム」
荻原重秀は書きつけを手に、
「――上米が卅両、中米廿八両の、下米が廿三両か」
「へい。ならして廿七両」
「いさゝかひどくはないか」
「へ、えへゝゝ」
この豪腹な町人は、たゞふざけたように笑うばかりだ。百俵、時価四十両以上のものを、米屋（札差）なかまが相談して、今年度の俸禄米買上げ値段を廿七両に決定したというのだ。
「ときにこれで――あの方は？」
荻原重秀が、近江屋の眼をじっと見る。
「へえ、それは十両にござります」
「と、卅七両か。いかんぞ…儲け過ぎる。もう一両フン発せい」
「あれだ。こわい殿様だ。まったく、えへゝゝゝ」
「笑うてごまかすでない」
「は、はゝゝゝ」
四十何両の米をわずか廿七両、半額近い値段に叩いて、その代りに十両といふリベートを納めますという町人に、この悪官僚は、百俵、卅五石につき、もう一両を増せと強要しているのだ。
笑った顔を急に引きしめて、
「ときに、この期はいかほどばかりの米を、お払いに相成るのでござります」
と訊ねる。
「やはり、先ず百万石見当じゃが、いつごろ引受けるかな、当方ではもはや用意致してあるが」
「さようで、えゝと……」
近江屋はまたソロバンを手にした。しばらくの間カチャカチャやっていたが、
「八十万両ばかりに相成りますなに、こればかりの金子にござりますなれば、てまえども、いつなんどきなりともお引受け致しますでござります」
「なに、いつでも、いますぐでもよいのか」
「へい」
八十万両という巨額な金高を、ついありあわせのハシタ金みたいにいうこの町人に、重秀はギョッとした悪寒のようなものを感じるのだった。
（こわいことだ。まったくソラおそろしいような町人の勢力だわい。
公儀では、日本全国を治める柳営の金蔵に、わずか五十万両の金が無くて、やりくり算段もシドロモドロではないか。なんたることだ。これは一たい、どういうことなのだろう。わしが若年のみぎりはじめて勘定奉行所入りしたころに、一万両の金を自在に動かす町人は、一人だって居りはしなかった。大変な世の移り変りだ。これからさき、この町人どもはどういうことをやり出すであろう。すべては金の力が発言し、解決することになる。絞らねばならぬ。こいつらから絞りあげて、この身が巨万の金を持つことだ。金さえあれば天下が自由になるのだ。それにしても、柳沢様（吉保）がなつかしい。あのお方が台閣にあって、この身がその下で老中になる――としたら、天下は即ちわが物となるのだが――当上様、駄目だ。新井白石、憎いやつだ。八百定などという粋狂な町人の一味――早く金をためて、すべての反対派を討ち滅ぼさねばならぬ）
「なにか、殿様、お気に障りましたのでは」
近江屋の声にハッとして、
「イヤ、なに。その、四、五日うちに払い渡しを通達するぞ」



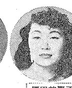
歌手になりたやノド自慢

今月はじめに行われたテイチクの新人募集は二千五百四十名が応募、しかも今年は男女ともに〝失業学生〟がワンサと押し寄せて歌の上手、ヘタは二の次という風景を見せ、歌も応募も就職の一つに数えられ出したかと会社側はビックリ、おまけに落選者からは「こんなに募集をやればよっぽど儲かるのだろう」などといわれて、世間のセチ辛さに今更ながら係員は腐っている

二千五百人殺到（テイチク新人募集）
「ドル箱歌手に」と自薦の心臓娘も
大部分が職アブレ卒業生


荒川 文子


龍野真智子


原田美惠子


白根 一男

テイチクは毎年春になると新人歌手を募集するが、今年のように〝失業学生〟が押しかけて来たことはまだないそうだ、何しろ願書に添えて「すべての就職がダメでした残るは貴社のレコード歌手になってみることだけです」という嘆願が多く、これは男の学生が殆んどという、女学生出身となると「テストの時に調子は悪くってゝ作曲家について勉強させて下されば、きっと〳〵貴社のドル箱歌手になるでしょう」という超心臓型がいるから「近頃の娘はコワイ」という、また中には手数料の他にどういう意味かわからぬが百円札が数枚同封してあるのが多く「寸志です、お受取り下さい」とたゞ一筆だけのもあり、係はこれを返送するのに汗ダクで「逆に切手代がかさみますよ」と恨めしげにコボしている

ところでこれらの合格者が新人歌手として巣立つまでには会社側の費用もなか〳〵大変であるまず採用と決定すると半年間はその間、作曲家の許に預けて養成する、作曲家には手数料として一人につき一万円程度を払って毎月四、五千円を渡すことにしているので、一人の歌手がデビューするまでにはかれこれ十万円がとこかゝるわけだ、従って応募二千名から規則書送料として卅円、テスト料三百円とって金収入六十六万円にはなったとしても採用できる新人が十人もいれば忽ち赤字となるわけで「儲かるから新人募集をやるのではありませんよ」と会社はいっているが、そこはまたよくしたもので狭き門をくゞり抜けて幸運を掴む合格者は二千人の中で十名に欠けるのが通例でつまり収支はトントンにはなっているようで、派手な新人掘出しも結構テスト料でまかなえる仕組みになっている

さらにこの新人の歌が一応売れ出せば将来会社はホク〳〵というわけ、現在新人テストで採用になりこの社で売り出したものは白根一男、原田美惠子、荒川文子、龍野真智子らがいる

芝居みたまま

「酒屋」の芦燕が秀逸　東横ホール・若手歌舞伎

○…常日頃大舞台で力を発揮出来ないでいた不遇な人たちが思わぬよい味をみせている、その第一は芦燕がお園と三勝の二役をやる「酒屋」で、夫として不適格な半七（源之助）に現実離れのした貞女ぶりを尽す寂しい心掛けと色気をにじませて秀逸、団之助の宗岸も手堅い、「封印切」では勘彌の忠兵衛が線の細いところをみせ、福助の八右衛門の大まかな小憎らしさとが対照的で成功だ、松蔦の梅川は固すぎる

○…「勧進帳」は段四郎の弁慶熱演で大過なく、勘彌の富樫のガラは立派、半四郎の義経も美しいがいま一息で緩急に乏しく、左文次、愛之助、宗彌の番卒だけが本役、「源氏店」は半四郎の与三郎はセリフの研究不十分、松蔦のお富も色気失調で試作品、八百蔵の蝙蝠安が活躍する

○…「源太勘当」は勘彌の源太、八百蔵の平次で、芝鶴の延寿、又五郎の千鳥がよい女形ぶりを見せるが、「心中浪花春雨」は年下の男六三（半四郎）と遊女お園（松蔦）の愛も表現不足で八百蔵の赤柄が独り舞台、仇討批判をテーマにした「真如」では芝鶴のお節が低調な場面を引きしめる、ほかに段四郎、猿三郎などの「素襖落」がある、廿五日まで（杏）


【写真は「勧進帳」の勘彌(右)と段四郎】

映画やぶにらみ

永遠の海原（リパブリック）

▽…レイテ沖海戦の際空母プリンストン号上で片脚を失った米海軍実在の将校をモデルにした国策映画、彼が片脚を失った後も強引に現役にとゞまり、空母にはじめてジェット機を搭載することを主張これが功を奏して朝鮮事変に大功を樹てるわけだ、演出ジョン・H・ウオア

▽…いわば軍人精神の権化のような主人公（スターリング・ヘイドン）の闘魂を徹底的に讃美している、一応話の端は身体的障害を克服する一人の人間像を刻もうと努力しているのだが、かんじんな点は矢張りその身にまとった軍服に解決を見出しているわけで、われわれの眼からすればひと昔前、身近に氾濫した大小の軍人精神謳歌映画と何ら異るところはない、ただこの種戦記物ではいつでもいえることだが、レイテ沖の海戦シーンに記録フィルムを実にうまくつなぎ合わせている事で、日本の特攻機も登場、迫力を盛りあげている、それとも一つ面白いのはこの将校の妻（アレクシス・スミス）の描き方で、さながら日本の〝婦道の鑑〟的なにおいがするあたりアメリカ映画には珍らしい（静）


【写真はその一場面、ヘイドンとスミス】

坂東八十助を襲名　菊五郎劇団の守田光伸



菊五郎劇団の松緑の指導のもとにこのところ進境著しかった守田光伸は、このほど四代目坂東八十助を襲名することに決った、なお光伸は本年廿五歳、三代目坂東秀調の三男で、去る三月廿八日坂東[illegible]助の長女と結婚、養子となった
【写真は坂東八十助】

キングレコード三月のベスト・テン

キング・レコードの三月分売行きベスト・テンは若原一郎の「港のおりくさん」が第一位で約四万四千余枚を売上げ、以下次ぎの順位となった②浜松屋（春日八郎）③咲きのワルツ（江利チエミ）④浪花夜曲（春日八郎）⑤海の若人（春日八郎）⑥吹けば飛ぶよな（若原一郎）⑦マンボ・イタリアーノ（ペギー葉山）⑧ギター流し（春日八郎）⑨あなたとともに（津村謙、吉岡妙子）⑩赤いランプの終列車（春日八郎）

花の素顔 ⑯

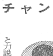
高友子



はじめに 自意識過剰で何でも掘っくりかえして考えないと納得がいかない そうだ、だから「花咲爺さん」のポチみたいなものだが、彼女なかなか大判、小判がザックザクというような大穴にはぶつからない、そこで彼女小柄な体に全神経を集中して〝自意識過剰精神〟をますます発揮する、つまりそれだけ真剣に演技への道を探究していることになるわけなのだが、その反面この精神が彼女のお色気の欠如に大いに影響しないでもない

とことんまで掘下げる
川島監督　あせらず落ついてチャンスを待て

彼女は 「そうなのよ、考えだすと全然寝られなくなっちゃうの、だから仕事がない時が一番つらいし肥れないのかなあ」などといってペロっと舌を出してみせるのである、このあたりは彼女のかざり気ない若々しさもほの見えてそれほどの〝考える癖〟とも思えないし、可愛い雰囲気さえ漂うのである「だけどね、あたしは美人じゃないでしょ、だからいくらきばってみても悲劇のヒロインなんてガラじゃないのよ」ともいうのだ、つまりこの顔は二枚目半の素顔だと力説するのである

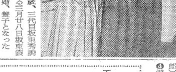


そして 彼女を松竹から日活入りさせ、「愛のお荷物」でいかにも彼女らしい味を演出した川島雄三監督は「今の彼女に大切なのは〝あせるな〟ということですよ、新人としては演技の基礎もしっかりしている方だし、じっくり落ついていても必ず彼女の〝場〟がありますよ」というのである、それかあらぬか彼女は目下富士映画から借りられて「天下の若君漫遊記」に主演しているのである、もち論これが彼女にとって本来の〝場〟ではなかろうが、しかし他社から借りられるということは彼女の演技を世間が認めているということにほかならない、たとえそれがほんのチョッピリずつであったにしてもだ…そしてそのチョッピリが蓄積されてはザックザクのポチ公と育つ過程にあるというわけなんだ、頑張れポチ公
【円写真は川島雄三監督】

「蝶々夫人」五月下旬有楽座で

日伊合作「蝶々夫人」（監督カルミネ・ガローネ、主演八千草薫）は五月下旬有楽座でロードショウ公開される

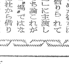
名誉初段辞退　王に逃げられ棋院のまけ



―観戦者

名選 都々逸　小沢爾太郎選

慰謝料もやっと月賦で済ませる事にきめてみじめな切れ話　前橋・川端梛
浮気のつもりがついとうなって痩せる思いの春の雨　池袋・晋司
妙な顔してきまりが悪いあなたに負けとく睨めっこ　向島・君鶴



大きく笑えば奥歯の金がそれで十分ある魅力　赤羽・浜野浮舟
綺麗さっぱり昨日の夢を思い切れない身のつらさ　葛飾・田吾作
◇
麻雀で夜明ししたにはお白粉臭い怪しい貴方の朝がえり　選者

街歌「しぐれ吟社」例会　廿三日夜六時、神田須田町柳森神社、宿題・佛・徹・金・釣・職人気質、席題二

赤坂みのる会舞踊大会

恒例赤坂みのる会の第七回舞踊大会が廿七日から五月二日まで六日間歌舞伎座で開催される、今年は、特に清元梅吉が「合縁奇縁」と「道行恋鳴神」の二本を作曲したのが話題、番組は次の通り（第一部）「五月の雨」「合縁奇縁」「二月堂」「紀文大尽舞」（第二部）「道行恋鳴神」「連獅子」「お夏清十郎恋慕笠」

浅草の会

十八日午後五時から傳法院大書院で、ハーモニカ生活四十五年の宮田東峰を囲んで瀧木路子ほかの歌もある

はなし

▽…万年青年と自他共に許す？ 漫才の東喜代駒が二、三日前コールマン髭をムズムズさせながら六区を歩いていたら知合いの美人とパッタリそこで早速近所の喫茶店に入ったまではよかったが、物の五分と経たぬうちに彼氏はソワ〳〵、話もウワの空でテーブルの上と下を一生けん命見回している



▽…「どうしたの急に？」といわれてイヤハヤとか何とか誤魔化しながらコーヒーを掻き回したら中で何だかガチーンと音がする、これが何と四枚続きの入れ歯で、いわずと知れた喜代駒の探し物、照れた彼「コーヒーで磨くとツヤがでるんでねェ」とは苦しい弁解
【写真は東喜代駒】

ラジオとテレビ（18日 月）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ①子供のシンブン ②「生きている山脈」 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話 松本亨 30 受信機講座 40 科学クイズ朝比奈貞一	10 東西こぼれ話 小金治 25 バイバイ・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 バンド・タイム	00 劇「ポツポちゃん」 25 時代劇「神変稲妻童子」 35 歌謡百貨店
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 三つの歌 司会・宮田アナ	00 ①提琴と洋琴の為の四つの小品 テイリエ曲②トランペット奏鳴曲 30 若い女性 解説・望月衛	10 録音ニュース 20 「不如帰」東山千栄子 30 四つの明星 泉友子 織井茂子 鶴田六郎ほか	10 紅茶サロン 木村荘八 20 ものまねコンクール 司会・市村俊幸 ゲスト 菅原つづ子ほか	00 ラジオ夕刊 20 花のステージ山本富子 30 ①漫才 道雄・一歩②落語「名違い」枝太郎
8	00 お父さんはお人好し アチャコ 浪花千栄子 30 浪花節「なぐられた次郎長」広沢菊春	00 ニュース 05 教養特集 鼎談「デューイの哲学と日本の教育」司会・久野収	00 劇「ボヘミヤの醜聞」山形勲 永井智雄ほか 30 タレント・スカウト 司会・松井翠声	00 六大学春の音楽リーグ戦 法大・東大 30 劇「雪之丞変化」市川中車 中村栄二ほか	00 ハロー・ハロー・クイズ 司会 テディ・中村 30 大学勝抜き歌合戦 司会・益田喜頓 山内謙一
9	05 ニュース解説館野守男 15 鳩山首相にきく 矢部貞治（首相官邸にて） 40 「春子の手帳」メイコ	00 名作劇場「ドリアングレイの画像」オスカーワイルド原作 楠義孝 石浜祐次郎 高梨久ほか	10 銭形平次捕物控「浮世絵の女」滝沢修 渡辺篤 35 ①漫談 西条凡児②漫才 中村春代・砂川捨丸	00 何処へでも 徳川夢声と噺家 30 歌謡浪曲「祇園小唄」富士秀竜	00 親子演芸会 ワタナベ正美 夢路すみれ 30 歌の二人三脚
10	15 録音構成「兄弟ゲンカの裁き方」 40 風流歌草紙三島れい子	00 ①初級英語 小野嘉寿男②上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 今日のニュースから 15 劇「新選組」木村功他 30 コンサート・ホール	00 英文和訳 岩田一男 30 解析（1） 田島一郎	00 劇「南無三宝」小沢栄他 15 落語「もと犬」柳枝 35 新内「姥ケ餅」加賀寿々
11	20 随筆「運と性格」川路柳虹作	05 新商店読本 清水晶 20 抜歯後の出血佐藤伊吉	10 科学の眼 糸川英夫 45 夜の軽音楽	00 青空会議「民主党の保守合同論をめぐつて」	15 当世花嫁修業 40 新宿あれこれ 泰次郎

テレビ

★NHKテレビ★ 6・00 こども映画劇場 6・30 奥の細道をたどる 福田清人 7・30 ジエスチヤー 8・00 映画「青春怪談」より 8・30 劇「愛の舗道」信欣三 大塚道子 中村是好 瀧川玉枝 来宮良子ほか

★日本テレビ★ 6・00 紙芝居「狸囃子」 6・25 ピアノ独奏 6・45 手品教室 7・30 ポツポとチヤコ 8・00 ①漫才 千太・万吉②浮世節 西川たつ③落語「町内五人男」円右 8・45 邦舞若柳光妙ほか光妙会

★KRテレビ★ 6・10 アンデルセン劇場 7・00 映画「月の輪古墳」 7・30 落語「四人癖」柳枝ほか 8・00 ショーボート物語②井上靖子 西村晃 丸山清子 8・30 タレントスカウト 司会 松井翠声 デイツク・ミネほか

あすの番組

★NHK第1★	★NHK第2★	★ラジオ東京★	★日本文化★	★ニッポン★
7・45 朝の訪問 杉浦兼松	8・00 自宅療養者と主治医	8・05 歌のない歌謡曲	7・30 想い出のメロデイ	8・10 お早ようヴーちゃん
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	8・35 劇「花のゆくえ」	8・25 青春のあるところ	9・00 劇「サザエさん」
8・30 趣味の手帳瀬戸英一	9・15 ラジオ音楽国語教室	9・45 想い出を語る	9・15 小説「第二の接吻」	11・00 連続劇「信子」
9・15 便利な家庭用品	11・00 私達のくらし	10・10 名作「路傍の石」	9・30 物語「玄宥僧正」	11・35 朗読「たけくらべ」
11・00 朗読「暖流」桜村治子	11・30 科学と生活	11・35 音楽のスーツケース	10・40 劇「君ひとすじに」	12・00 漫才クラブ 洋容他
12・30 小咄横丁太宰久雄他	11・45 最近の労働事情	1・30 婦人の生活と意見	11・35 連続劇「東京の人」	1・00 連続劇「純情日記」